ため池ハザードマップ 善通寺市

避難のタイミング・自宅周辺の被災程度

善通寺大池2

このマップは、善通寺市個別ため池ハザードマップで、全市域版を補完する「詳細版」です。

このマップに示す浸水区域等は、あくまで計算結果であり、必ずしも実際の災害でこの通りになるわけではありません。

凡　例

ため池浸水想定区域
- 深さ 2.0m～5.0m
- 深さ 1.0m～2.0m
- 深さ 0.5m～1.0m
- 深さ 0.5m 未満

浸水到達時間
- 1 分後
- 2 分後
- 5 分後
- 10 分後
- 20 分後
- 30 分後

避難時活用情報
- No. 避難時注意事項
- 歩行避難困難区域
- 木造家屋倒壊危険区域
- 第一避難目標地点
- 避難所
- ため池避難ビル
- ため池決壊を想定した避難経路
- 逃げ遅れた時に身体への危険性が高い避難経路
- 主な避難方向

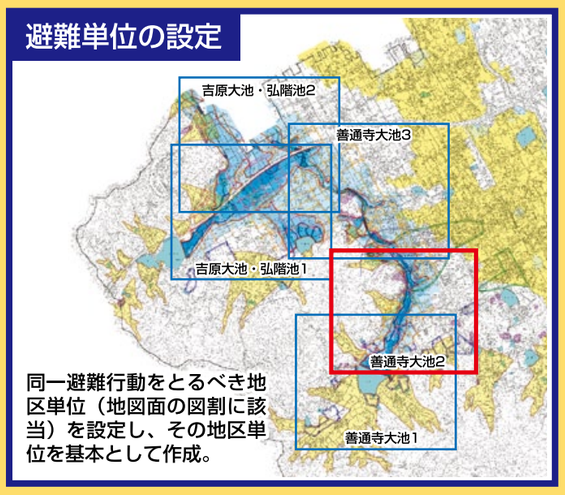
金倉川の浸水想定区域
金倉川がはん濫した場合に想定される浸水の水深（ランク別）
- 深さ 0.5m 未満

土砂災害警戒区域
- 土石流
- 急傾斜地

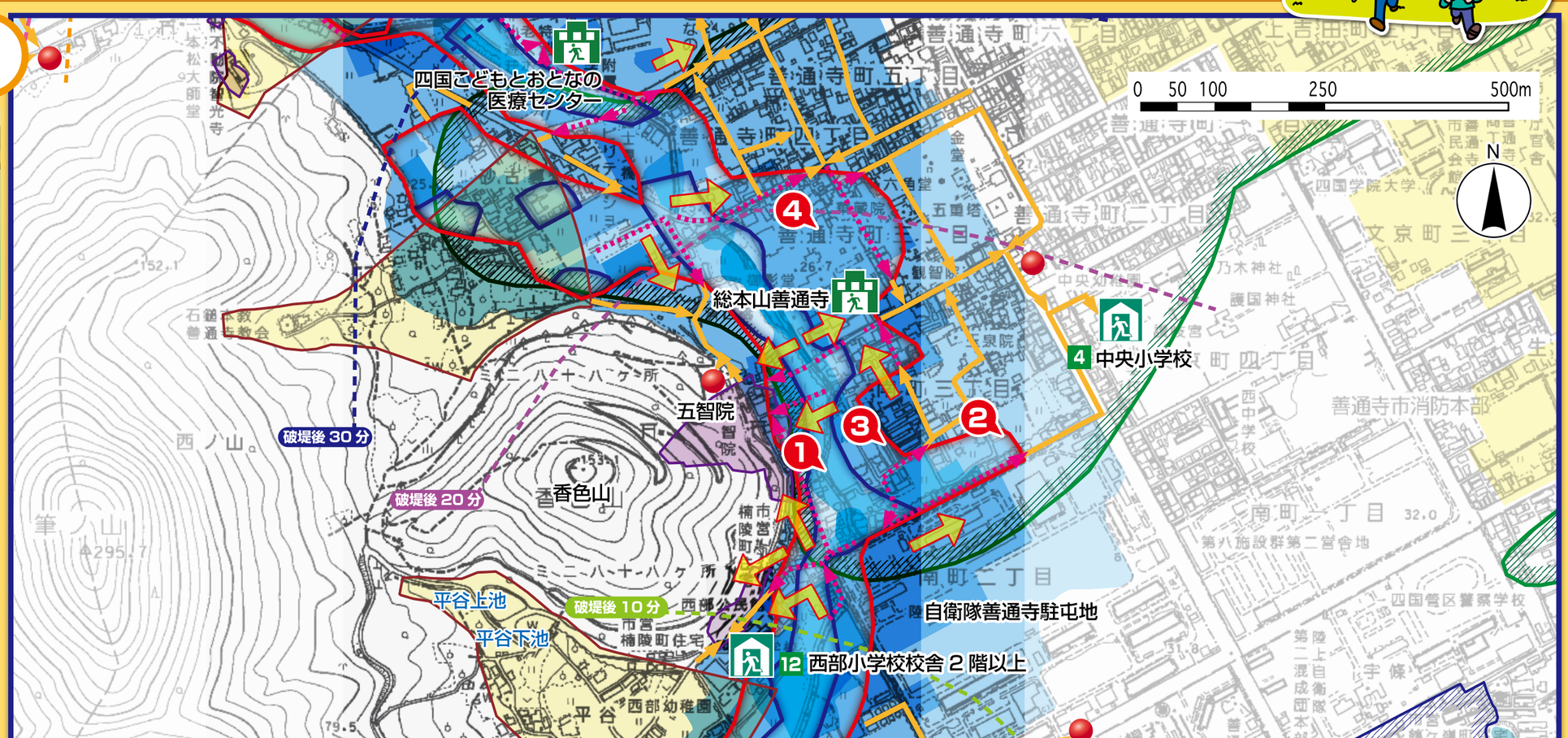
貯水量 10 万㎥未満のため池浸水想定区域
- 図解法による浸水想定区域

浸水実績
- 平成 16 年台風 23 号浸水実績

避難単位の設定



同一避難行動をとるべき地区単位（地図面の図割に該当）を設定し、その地区単位を基本として作成。



各地点の避難時注意事項

1 破堤後10分程度で洪水が到達。すぐに道路は歩行困難となり木造家屋が倒壊する可能性があります。川を渡ることは危険です。躊躇せず一時避難目標の五智院を目指して避難してください。逃げ遅れたら無理せず2階に避難してください。

2 破堤後10分程度で洪水が到達。すぐに道路は歩行困難となります。躊躇せず近くのため池避難ビルや中央小学校を目指して避難してください。逃げ遅れたら無理せず2階に避難してください。

3 破堤後10分程度で洪水が到達。すぐに道路は歩行困難となります。躊躇せず近くにある避難ビルや中央小学校を目指して避難してください。逃げ遅れたら無理せず2階に避難してください。

4 破堤後10分程度で洪水が到達。すぐに道路は歩行困難となります。川を渡ることは危険です。躊躇せず近くにあるため池避難ビルを目指して避難してください。逃げ遅れたら無理せず2階に避難してください。

善通寺市ため池決壊緊急避難所一覧（吉原大池・弘階池・善通寺大池）

登録番号	名　称	住　所	電話番号（0877）
4	中央小学校	文京町 4-5-1	62-1616
12	西部小学校（校舎 2 階以上）	善通寺町 1146	62-0701
23	筆岡小学校	中村町 1575-2	62-0706
25	吉原小学校（校舎 2 階以上）	吉原町 2811	62-0707
26	吉原公民館	吉原町 1569-1	62-0604

率先避難が必要な地区の洪水が到達する時間・洪水の速さと深さの変化

率先避難が必要な地区	木造家屋倒壊危険区域	歩行避難困難区域	破堤時～10分後	11分後～20分後	21分後～30分後	60分後	90分後	120分後
1	○	○	歩行避難可能	流速1.5m／s以上3.0m／s未満	流速3.0m／s以上	流速0.5m／s以上1.5m／s未満		
				歩行避難困難・木造家屋倒壊		歩行避難困難・木造家屋倒壊		
2		○	歩行避難可能	流速0.5m／s以上1.5m／s未満	流速0.5m／s以上1.5m／s未満			
				歩行避難困難				
3		○	歩行避難可能	流速1.5m／s以上3.0m／s未満	流速0.5m／s以上1.5m／s未満	流速0.5m／s以上1.5m／s未満		
				歩行避難困難	歩行避難困難	歩行避難可能		
4		○	歩行避難可能	流速1.5m／s以上3.0m／s未満	流速0.5m／s以上1.5m／s未満	流速0.5m／s以上1.5m／s未満		
				歩行避難困難		歩行避難可能		

ため池決壊で避難が必要な住民は、避難訓練し避難のタイミングを守ることで安全な避難が可能です。

避難のタイミング

グラッ！地震発生　最初の激しい揺れは約 3 分程度

❶まず、身を守る　❷すばやく火の始末　❸非常脱出口の確保

強い揺れを感じた場合には、ため池決壊の恐れがありますので自主的に避難してください。

木造家屋倒壊危険区域内
- 浸水前　○避難　×自宅に待機
- ため池決壊による氾濫流により建物が倒壊する危険性が高いため、高台や避難施設への避難が生き残りの原則です。

木造家屋倒壊危険区域外

- 浸水深 2m 以上（1階建・2階建）
  - 浸水前　○避難　×自宅に待機
  - 浸水後　×避難　×自宅に待機
  - 浸水が始まった後の避難行動は大変に危険です。早めに避難しましょう。
- 浸水深 1m～2m 未満（3階建以上・1階建）／浸水深 0.5m～1m 未満（2階建以上）
  - 浸水前　○避難　△自宅に待機
  - 浸水後　×避難　△自宅に待機
  - 日頃から避難の準備をしておきましょう。
- 浸水深 0.5m 未満
  - 浸水前　○避難　○自宅に待機
  - 浸水後　×避難　○自宅に待機
  - 浸水が始まった後の行動は危険です。
- 浸水想定区域外に住んでいる方
  - 想定では浸水しませんが、河川の状況等によっては浸水の可能性もあります。
  - 1階建の建物に住んでいる方は状況に応じて早めに避難してください。

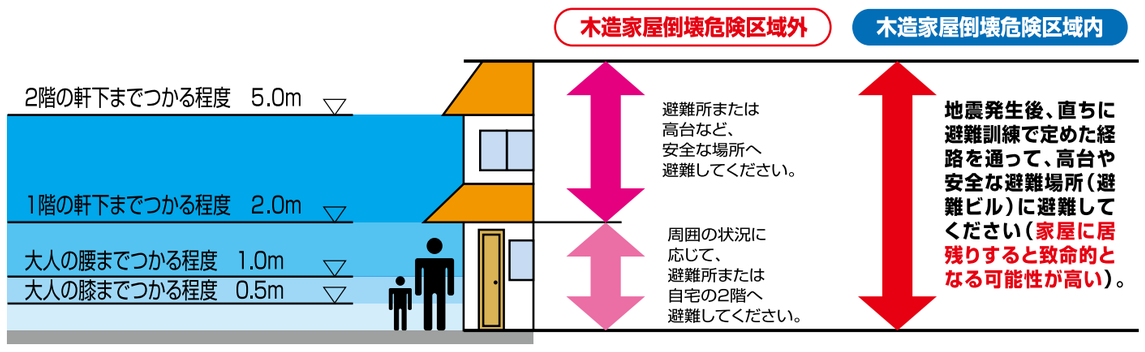
ため池が決壊してはん濫が始まった後では、避難することがかえって危険な場合があります。状況に応じた行動をとることが必要です。

地震時直ちに高所へ避難する必要がある地域（要避難地区）

地震時直ちに高所へ避難する必要がある地域（要避難地区）は、「木造家屋倒壊危険区域」とその外側にある「歩行避難困難区域」です。これらの区域で木造 1 階建てに住む方は率先して避難する必要があります。「木造家屋倒壊危険区域」に木造建物を住家にしている方は、2 階以上に逃げても倒壊する可能性があります。速やかに安全な避難場所に避難してください。

鉄筋コンクリート造りなど堅牢な建物で 2 階以上に住む方は念のために 3 階以上に一時避難してください。

木造家屋の被害程度と避難の目安



このマップの問い合わせ先　善通寺市 農林課　TEL 0877-63-6395

平成 28 年 6 月作成